

国際政治の枠組みで

なぜシベリア抑留は起こったのか

シベリア抑留の歴史を風化させないために

シベリアをはじめとする旧ソ連領内の各地へ、多くの日本の兵士や軍関係者が強制連行され、極寒の厳しい環境のもとで強制労働を強いられました。その数はおよそ60万人にのぼり、飢えや病気などにより約6万人が命を落としたといわれています。戦後80年を迎えた今年、この記憶を風化させることなく、次の世代へと語り継ぐことを目的にした会を開催いたします。



舞鶴市
舞鶴引揚記念公園
での桜の植樹

当協会創設の
きっかけとなった
ナボイ劇場建設に従事された
第四ラゲル会の皆さん

2025年 12月6日(土) 18:30~21:00

主催：NPO日本ウズベキスタン協会

※18：00より受付開始

参加費 500円（当日会場にてお支払いください）

定員 先着120名（要事前申込）

会場 神明いきいきプラザ 集会室A・B

〒105-0013 東京都港区浜松町1-6-7
プラザ神明

J R 山手線・京浜東北線 浜松町駅
北口より徒歩4分
地下鉄 都営浅草線・大江戸線 大門駅
A2出口より徒歩4分
B1出口より徒歩3分



申込 左のQRコードを読み込み、お申込みフォームに
必要事項をご入力の上、お申込みください。
定員になり次第、締め切ります。



講師

小林 昭菜 氏

関東学院大学法学部 准教授

<https://researchmap.jp/kobayashiakina>

博士（政治学）。専門は国際関係史、特に日ソ関係史・冷戦史。
法政大学大学院政治学研究科博士後期課程修了後、国文学研究資料館、
多摩大学を経て、2025年より現職。ロシア・モスクワなどでの史料調査を
もとに、戦後日本とソ連の関係やシベリア抑留問題を研究。主な著書は
『シベリア抑留 米ソ関係の中での変容』（岩波書店）。